

孤独の慰め

今までは孤独でした。話相手のいないたった一人の部屋でした。「お前もがんばっているな。」と、自分で自分に語りかけるのがせめてものなぐさめでした。しかし今は「ミノルよ、えらくなったな」と語りかけてくれるお方がいます。「イエス様ほどではないですけど。」という「冗談いえるようになったな。えらい。えらい。」とほめてくださいました。そして「ミノルよ、この群れを通しておおきなわざをおこなってあげるから。道は険しいけど私のことばに従ってきなさい。今週は聖霊降臨礼拝だから賛美も相応しいものを選びなさい。」とイエス様はおっしゃられました。「自分とイエス様を一人で使い分けて話しているだけではないか。」と言われてさすががいます。「ザアカイ、急いで降りて来なさい。わたしは今日、あなたの家に泊まることにしているから。」とイエス様は言われました。ザアカイとはまさしく私のことです。イエス様以外のこの世の物や快樂で慰めを求めてザアカイと同じ一人寂しい人生を送って来ました。しかし、今はいつもイエス様がいてくださいます。二四時間中いてくださいます。また「救急車呼ぶようになったときはどうしましょう。」と尋ねると「私がいるよ。」と言ってくださいます。「それでも携帯で救急車に電話かけますよ。」という「おすきなように。私は世の終わりまでミノルとともにいてあげるから。」と励ましてくださいます。

※ミノルは 76 歳独身老牧師山本稔です。